

愛し、分かち合い、招く

愛する

ヨハネ13：34-35；モーサヤ18：20-22；教義と聖約12：7-9；121：41-42

十二使徒定員会のゲーリー・E・スティーブソン長老は、次のように教えています。



「何も言わなくても、隣人にキリストのような愛を示すときにはいつでも、福音を宣べ伝えていきます。

人々への愛は、隣人を愛しなさいという2番目の大いなる戒めを雄弁に表します。御霊がわたしたち自身の心の中で行われる清めのプロセスを示しています。人々にキリストの愛を示すことにより、わたしたちの良い業を見る人々が『天にいます〔わたしたち〕の父をあがめる』〔マタイ5：16〕かもしれません。」（ゲーリー・E・スティーブソン「愛し、分かち合い、招く」『リアホナ』2022年5月号、85参照）

分かち合う

2ニーファイ2：6-8；モーサヤ28：1-3；アルマ31：5；教義と聖約60：2

十二使徒定員会のディーター・F・ウークトドルフ長老は、次のように教えています。



「週末をどう過ごしたか尋ねられたら、ためらわずに、教会で経験したことを話してください。会衆の前に立ち、イエス様のようになるためにどうしているか熱意を込めて歌っている、幼い子供たちについて話してください。高齢者施設で個人史の作成を手伝っている青少年について話してください。……

どんな方法であれ、あなたにとって自然で普通だと思う方法で、イエス・キリストと教会が自分にとってなぜ大切であるかを人々に伝えてください。」（ディーター・F・ウークトドルフ「伝道活動—心の中にあることを伝える」『リアホナ』2019年5月号、17参照）

招く

ヨハネ1：35-46；4：28-30、39-41；アルマ5：62；モロナイ10：3-5

十二使徒定員会のゲーリー・E・スティーブソン長老は、次のように教えています。



「人を招く方法は何百通りとあります。聖餐会やワードの活動に『来て見る』ように、またイエス・キリストの福音を説明するオンラインビデオを見るように勧めることができます。モルモン書を読んだり、奉獻前のオープンハウス期間中にできたばかりの神殿に『来て見る』よう勧めることもできます。時折、自分自身を招くこともあります。周りにある様々な機会に気づき、見て、行動に移すよう自分を招くのです。」（ゲーリー・E・スティーブソン「愛し、分かち合い、招く」『リアホナ』2022年5月号、86）